

その常識、変えてみせる。

SHIFT



2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月8日

上場会社名 株式会社SHIFT 上場取引所 東
 コード番号 3697 URL https://www.shiftinc.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)丹下 大
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理部 部長 (氏名)岡 朋宏 (TEL)03(6809)1165
 四半期報告書提出予定日 2021年4月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績(2020年9月1日~2021年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	20,287	58.1	1,488	19.8	1,923	51.2	1,086	44.0
2020年8月期第2四半期	12,830	55.1	1,242	156.7	1,272	165.2	754	188.1

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 1,047百万円(29.2%) 2020年8月期第2四半期 811百万円(160.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	63.44	61.49
2020年8月期第2四半期	48.03	44.38

(注) 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数の算出に当たり、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式の期中平均株式数を控除する自己株式数に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	31,697	20,715	64.5
2020年8月期	19,821	10,781	53.0

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 20,437百万円 2020年8月期 10,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	56.7	3,400	44.5	3,400	34.1	2,100	27.4	120.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 4社(社名) 株式会社ホープス、株式会社サーベイジシステム、VISH株式会社、
株式会社ADX Consulting

除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年8月期2Q	17,644,000株	2020年8月期	15,940,500株
2021年8月期2Q	125,273株	2020年8月期	53,341株
2021年8月期2Q	17,121,856株	2020年8月期2Q	15,700,940株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式(2021年8月期2Q 125,000株、2020年8月期 53,100株)が含まれております。また、期中平均株式数の算出に当たり、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式の期中平均株式数を控除する自己株式数に含めております(2021年8月期2Q 65,231株、2020年8月期2Q 64,386株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、経済活動は国内外で停滞していましたが、各種の経済施策などにより経済水準の持ち直しの傾向もみられました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大は長期化し厳しい状況が続いており、国内外における経済的な見通しは不透明な状況が続いております。

当社グループにおいては、前連結会計年度より新型コロナウイルス感染症拡大防止にグループ会社一丸となって取り組んでおります。従業員の安心/安全を守る施策として全従業員へ毎日の検温測定と報告の徹底、全社的な在宅勤務の推奨、それに伴い案件従事者が在宅勤務を実現できるような3段階のセキュリティ体制の構築とお客様への提案活動など、対策を講じております。

当社グループは、様々な業界のお客様にサービスを提供しているため、業績への影響は限定的なものとなっております。現時点の経済活動状況を前提とするとこの傾向は続くものと予想しております。

当社グループがサービスを提供するソフトウェア関連市場においては、事業会社・IT関連会社など産業界全体に変革を起こすDX(デジタル・トランスフォーメーション)という概念が浸透し、多様な業界において推進されております。その中で、既存のシステムを先進的な環境で新たにシステムを作り直して移転するマイグレーションは、最も注目されている手法の一つであります。そのため、今後ますます、既存のメインフレームを理解し先進的なクラウド技術を掌握し、経営課題を解決する最適解を提案できる人材の確保や育成が重要課題になってまいります。

また、新しい生活様式(ニューノーマル)によって、テレワークやリモートによるコミュニケーション、電子決済などがさらに活性化しており、これらに関わるネットワークやアプリケーションにおけるセキュリティ領域も重要視されています。

こうした経営環境の中、当社グループでは当連結会計年度において、売上高1,000億円企業に向けた成長戦略「SHIFT1000 -シフトワンサウザンド-」を掲げ、営業力の強化による顧客基盤の拡大、構造化・数式化され科学されたM&A戦略の実現、IT業界の構造変化に合わせたサービス提供力の向上、多様な人材獲得手法の展開を重点課題として取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては売上高20,287,810千円(前年同期比58.1%増)、営業利益1,488,651千円(前年同期比19.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,086,152千円(前年同期比44.0%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①エンタープライズ市場

エンタープライズ市場では、金融業、流通業、製造業、通信業、ウェブサービス業など社会基盤を支える企業における業務システムや情報システムにおいて、ソフトウェアの品質保証に関するサービス全般を提供しております。

当第2四半期連結累計期間では、前連結会計年度より特にIT投資規模が大きい通信・保険業界などの各分野を注力業界として定め取り組んだ結果、長期的な関係構築を視野に入れたプロジェクトへの参画が進み、こうした新規顧客からの売上高が徐々に増加してまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間のエンタープライズ市場の売上高は18,830,513千円(前年同期比62.8%増)、営業利益は2,763,965千円(前年同期比21.5%増)となりました。

②エンターテインメント市場

エンターテインメント市場では、モバイルゲーム、ソーシャルゲーム、コンシューマゲーム等を消費者に提供するお客様に向け、品質管理工程やデバック業務のアウトソーシング、カスタマーサポート業務のアウトソーシングにより、お客様ビジネスの付加価値を向上させるサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間では、競合との差別化を図ることによる業界内認知度の向上や、既存顧客からの売上高が増加したことにより、収益基盤の拡大を進めました。この結果、当第2四半期連結累計期間のエンターテインメント市場の売上高は1,457,297千円(前年同期比15.2%増)、営業利益は289,146千円(前年同期比27.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ11,876,044千円増加し、31,697,153千円となりました。これは主に、資金調達等により現金及び預金が6,107,359千円、株式会社ホープス等グループ会社が5社増加したことよりのれんが3,720,882千円、売掛金が1,474,827千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、前連結会計年度末と比べ1,942,297千円増加し、10,981,911千円となりました。これは主に、取引量の増加等のため買掛金が582,587千円、株式会社ホープス等グループ会社が5社増加したことにより人件費増加等のため未払費用が531,700千円、未払法人税等が429,161千円、賞与引当金が105,226千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ9,933,747千円増加し、20,715,241千円となりました。これは主に、株式付与ESOP信託に充当するための自己株式取得等により自己株式が930,097千円増加し、純資産額は減少しましたが、資金調達や無償減資による振替等により資本剰余金が9,862,772千円、利益剰余金が1,086,152千円増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に6,007,357千円増加した結果、12,531,358千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローは1,916,027千円の収入(前年同期は810,387千円の収入)となりました。これは主に、売上債権の増加947,862千円や法人税等の支払額411,256千円等の資金の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上1,923,039千円、のれん償却額359,552千円、未払金及び未払費用の増加638,399千円、仕入債務の増加403,020千円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動によるキャッシュ・フローは4,677,750千円の支出(前年同期は474,186千円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出180,216千円や連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出4,200,669千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動によるキャッシュ・フローは8,774,178千円の収入(前年同期は520,375千円の支出)となりました。これは主に、株式の発行による収入9,746,849千円があったものの、長期借入金の返済による支出545,278千円や自己株式の取得による支出930,097千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の業績予想につきましては、2020年10月8日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,524,000	12,631,360
売掛金	3,837,591	5,312,419
たな卸資産	383,402	565,906
その他	451,706	457,346
貸倒引当金	△21,155	△26,041
流動資産合計	11,175,545	18,940,990
固定資産		
有形固定資産	704,920	756,083
無形固定資産		
のれん	3,027,209	6,748,092
その他	936,885	1,016,685
無形固定資産合計	3,964,094	7,764,777
投資その他の資産		
投資有価証券	2,918,464	3,136,956
その他	1,058,084	1,098,551
貸倒引当金	—	△206
投資その他の資産合計	3,976,548	4,235,302
固定資産合計	8,645,563	12,756,163
資産合計	19,821,109	31,697,153
負債の部		
流動負債		
買掛金	426,557	1,009,144
1年内返済予定の長期借入金	1,012,993	1,563,140
未払費用	1,139,466	1,671,166
未払法人税等	482,522	911,684
賞与引当金	131,536	236,762
その他	1,995,102	2,232,984
流動負債合計	5,188,178	7,624,882
固定負債		
長期借入金	3,574,651	3,061,454
その他	276,784	295,574
固定負債合計	3,851,436	3,357,028
負債合計	9,039,614	10,981,911
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,367	10,525
資本剰余金	6,501,820	16,364,593
利益剰余金	3,863,142	4,949,294
自己株式	△41,269	△971,367
株主資本合計	10,387,060	20,353,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,842	100,091
為替換算調整勘定	△9,098	△16,089
その他の包括利益累計額合計	124,743	84,001
新株予約権	757	1,809
非支配株主持分	268,932	276,385
純資産合計	10,781,494	20,715,241
負債純資産合計	19,821,109	31,697,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)
売上高	12,830,546	20,287,810
売上原価	8,628,246	14,376,986
売上総利益	4,202,300	5,910,824
販売費及び一般管理費	2,959,983	4,422,172
営業利益	1,242,317	1,488,651
営業外収益		
受取利息	857	96
受取配当金	—	42,207
為替差益	5,383	2,854
助成金収入	23,910	446,820
その他	4,055	13,842
営業外収益合計	34,207	505,820
営業外費用		
支払利息	3,964	7,352
資金調達費用	—	61,880
その他	336	2,199
営業外費用合計	4,301	71,432
経常利益	1,272,223	1,923,039
税金等調整前四半期純利益	1,272,223	1,923,039
法人税等	459,006	834,334
四半期純利益	813,217	1,088,704
非支配株主に帰属する四半期純利益	59,070	2,552
親会社株主に帰属する四半期純利益	754,146	1,086,152

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)
四半期純利益	813,217	1,088,704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△33,750
為替換算調整勘定	△1,800	△6,991
その他の包括利益合計	△1,800	△40,742
四半期包括利益	811,416	1,047,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	752,345	1,045,409
非支配株主に係る四半期包括利益	59,070	2,552

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,272,223	1,923,039
減価償却費	121,004	210,631
のれん償却額	85,888	359,552
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,588	4,338
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,892	35,233
受取利息及び受取配当金	△857	△42,303
支払利息	3,964	7,352
助成金収入	△23,910	△446,820
為替差損益(△は益)	△5,337	△2,203
売上債権の増減額(△は増加)	△408,353	△947,862
たな卸資産の増減額(△は増加)	△184,627	△146,775
前払費用の増減額(△は増加)	△27,195	△89,986
仕入債務の増減額(△は減少)	△31,748	403,020
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	150,449	638,399
その他	214,523	△60,104
小計	1,171,502	1,845,512
利息及び配当金の受取額	857	42,303
利息の支払額	△3,964	△7,352
助成金の受取額	23,910	446,820
法人税等の支払額	△381,920	△411,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	810,387	1,916,027
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△145,999	△180,216
無形固定資産の取得による支出	△32,188	△36,415
投資有価証券の取得による支出	—	△270,090
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△278,204	△4,200,669
敷金の差入による支出	△37,594	△162
敷金の回収による収入	1,520	9,318
その他	18,278	486
投資活動によるキャッシュ・フロー	△474,186	△4,677,750
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	510,000
長期借入金の返済による支出	△356,247	△545,278
株式の発行による収入	172,370	9,746,849
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△316,049	—
自己株式の取得による支出	△555	△930,097
その他	△19,893	△7,293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△520,375	8,774,178
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,529	△5,098
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△181,645	6,007,357
現金及び現金同等物の期首残高	8,691,223	6,524,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,509,577	12,531,358

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第1四半期連結会計期間において、2020年11月6日を払込期日とする海外募集による新株発行等を行いました。

また、当第2四半期連結会計期間である2021年1月に、当社は無償減資および株式付与信託ESOP信託に充当するための自己株式取得を行いました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が52,842千円減少し、資本剰余金が9,862,772千円増加、自己株式が930,097千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において、資本金は10,525千円、資本剰余金は16,364,593千円、自己株式は971,367千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エンタープライズ 市場	エンターテインメ ント市場	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,565,406	1,265,139	12,830,546	—	12,830,546
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,565,406	1,265,139	12,830,546	—	12,830,546
セグメント利益	2,275,481	226,356	2,501,838	△1,259,521	1,242,317

(注) 1. セグメント利益の調整額 △1,259,521千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. のれんの償却額は、全社費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エンタープライズ 市場	エンターテインメ ント市場	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,830,513	1,457,297	20,287,810	—	20,287,810
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,830,513	1,457,297	20,287,810	—	20,287,810
セグメント利益	2,763,965	289,146	3,053,112	△1,564,460	1,488,651

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,564,460千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. のれんの償却額は、全社費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社ホープスの株式を取得し、連結の範囲に含めております。当該事象等に伴い、当第2四半期連結累計期間において全社資産として、のれんが3,720,882千円増加しております。なお、第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行ってりましたが、当第2四半期連結会計期間において確定しております。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2020年9月30日に行われた株式会社ホープスとの企業結合について第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間において確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、のれんの金額は暫定的に算出した金額2,486,846千円から1,015千円増加し、2,487,862千円となりました。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。